



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
地方消滅 東京一極集中が招く人口急減 増田寛也編著 (中公新書)



今号のおすすめ
ライブラリーこちら!



うちのおじいさん(私の父)が「最近、県も市も駅のまわりにはばかり金かけていて、うちの方はどんどんさびれるじゃないか」と怒っていました。ちなみに彼が住んでいるのは、合併のために名前が消えた(専門的に言うと)非線引き都市計画区域で、(簡単に言うと)街道沿いの農村地帯。

「じいさん、それには理由があって、そうしないと、市全体がもっとダメになるんだよ」って言ってやりたいけど、きっと「実感」としてわからないなと思って、老い先短いじいさんを説得するのは止めました。

著者の増田さんは、その「実感」をできるだけ感じてもらうためか「消滅」という言葉を使って、人口減少によって多くの地域が消滅する可能性があると強く危惧しています。本当に消滅するかどうかはわかりませんが、少なくとも人口推計は、景気予測よりも現実性ははるかに高いのです。

まちづくりを進める方には、この「実感」をいかにわかりやすく伝えて冷静に対処するかが問われているように思います。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

藤岡市 都市計画課 稲垣 純



稲垣純さん(右から2番目)



講座の様子

私は、平成25年度に群馬県パートナーネットワーク講座を受講しましたが、正直、参加するまでは「ファシリテーター?」という感じで、何を学ぶ研修かもよく分かっていない状態でした。しかし、本講座を受講するうちに、ワークショップの有効性や、ファシリテーターのノウハウ、また講座自体の楽しさを実感していきました。(それと同時に、ファシリテーターの難しさも痛感しましたが…) 本講座を多くの方にお奨めしたいと思いますので、講座の概要やお奨めポイントなどを紹介したいと思います。まず、ワークショップとは、1つのテーマに対して、同じ体験を通して楽しみながら相互理解・合意形成を見つけ出していく話し合いの手法です。新規企画のアイデア出し会議などがワークショップのイメージです。

次に、ファシリテーターとは、ワークショップの進行にあたり、参加者の意見を上手く引き出したり、議論を円滑に進めたりするための調整役です。ワークショップでは、一部の人がばかりが発言してしまう、議論がテーマから脱線してしまう、といったことが起こり得ますが、これを調整するのがファシリテーターの役割です。

本講座では、そのファシリテーターのノウハウについて、参加者同士でワークショップを行うことで、実践を通して学ぶことができます。参加者はほとんどが初対面同志ですが、協働しているうちにどんどん仲良くなっていきます。他市町村の人と自由に意見交換できたのは貴重な経験でした。

最後に講師である大下先生についてですが、ユーモアに富んでいるため講演自体が聞いていて面白く、プログラムも参加者が楽しめる仕掛けが盛り込まれています。3回の講座とも楽しみながら学ぶことができました。

このように、業務に役立つスキルを楽しく学べ、他市町村の職員とも親睦を図れる本講座の受講をお奨めしますので、是非ご検討下さい。

結びに、この場をお借りして大下先生をはじめ、事務局並びに参加者の皆様に御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

マーチィの掲示板

～土地区画整理組合連合会東日本ブロック協議会を開催しました～



10月27日にホテルメトロポリタン高崎において、土地区画整理組合連合会東日本ブロック協議会を開催しました。本協議会は平成4年度から開催しており、群馬県での開催は4回目となります。

高齢化や人口減少などの進展により、都市の生活を支える機能をいかに維持していくかが課題となる中、「まちのまとまり」をつくる上で、土地区画整理事業が果たす役割は大変大きくなっています。

土地区画整理事業組合に従事する者同士が一堂に会して、それぞれの組合が抱えている課題等について意見交換をする貴重な機会となりました。

また、翌日の28日には、世界遺産登録された「富岡製糸場」にふさわしいまちづくりと高崎市内の土地区画整理事業を現地視察しました。事業の成果とともに群馬県の魅力をアピールすることができました。

開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

群馬県土地区画整理組合連合会事務局(群馬県都市計画課まちづくり推進係) 荻野 美子

